

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成25年4月25日 (2013.4.25)

【公開番号】特開2012-130346(P2012-130346A)

【公開日】平成24年7月12日 (2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-027

【出願番号】特願2012-28159(P2012-28159)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/155 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 39/155

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月28日 (2013.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パラミクソウイルス生産細胞において、サイトメガロウイルスエンハンサーおよびニワトリ - アクチンプロモーターを含むプロモーターの制御下にリボザイムとパラミクソウイルスのゲノムRNAまたはその相補鎖とをコードするDNAが連結されたDNAを転写させる工程、および、該ゲノムRNAとリボヌクレオプロテインを形成するパラミクソウイルス蛋白質の発現を、サイトメガロウイルスエンハンサーおよびニワトリ - アクチンプロモーターを含むプロモーターにより誘導する工程を含み、該リボザイムは、転写産物を該リボザイムとゲノムRNAまたはその相補鎖との間で切断する活性を有する、パラミクソウイルスベクターの製造方法。

【請求項 2】

該リボザイムがハンマーヘッドリボザイムである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

該パラミクソウイルスがセンダイウイルスである、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

該ゲノムRNAとリボヌクレオプロテインを形成するパラミクソウイルス蛋白質が、パラミクソウイルスのN(ヌクレオキャプシド)、P(ホスホ)、およびL(ラージ)蛋白質である、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 5】

該ゲノムRNAまたはその相補鎖が、エンベロープ構成蛋白質をコードする遺伝子の 1 つまたは複数を欠損しており、エンベロープ構成蛋白質をコードするDNAを、該細胞において発現させる工程をさらに含む、請求項 1 から 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6】

(a) サイトメガロウイルスエンハンサーおよびニワトリ - アクチンプロモーターを

含むプロモーターの制御下に、リボザイムとパラミクソウイルスのゲノムRNAまたはその相補鎖とをコードするDNAが連結されたDNAであって、該リボザイムは、転写産物を該リボザイムとパラミクソウイルスのゲノムRNAまたはその相補鎖との間で切断する活性を有するDNA、および（b）サイトメガロウイルスエンハンサーおよびニワトリ -アクチンプロモーターを含むプロモーターの制御下に連結された、該ゲノムRNAとリボヌクレオプロテインを形成するパラミクソウイルス蛋白質をコードするDNA、を含むパラミクソウイルス生産用キット。

【請求項 7】

該ゲノムRNAまたはその相補鎖が、エンベロープ構成蛋白質をコードする遺伝子の 1 つまたは複数を欠損している、請求項 6 に記載のキット。

【請求項 8】

該パラミクソウイルスがセンドライウイルスである、請求項 6 または 7 に記載のキット。

【請求項 9】

該ゲノムRNAとリボヌクレオプロテインを形成するパラミクソウイルス蛋白質が、パラミクソウイルスのN（ヌクレオキャプシド）、P（ホスホ）、およびL（ラージ）蛋白質である、請求項 6 から 8 のいずれかに記載のキット。

【請求項 10】

リコンビナーゼにより該ゲノムRNAまたはその相補鎖を発現誘導可能である、請求項 6 から 9 のいずれかに記載のキット。

【請求項 11】

該リコンビナーゼがCreまたはFlpである、請求項 10 に記載のキット。

【請求項 12】

（a）サイトメガロウイルスエンハンサーおよびニワトリ -アクチンプロモーターを含むプロモーターの制御下に、リボザイムとパラミクソウイルスのゲノムRNAまたはその相補鎖とをコードするDNAが連結されたDNAであって、該リボザイムは、転写産物を該リボザイムとパラミクソウイルスのゲノムRNAまたはその相補鎖との間で切断する活性を有するDNA、および（b）サイトメガロウイルスエンハンサーおよびニワトリ -アクチンプロモーターを含むプロモーターの制御下に連結された、該ゲノムRNAとリボヌクレオプロテインを形成するパラミクソウイルス蛋白質をコードするDNA、を保持する哺乳動物細胞。

【請求項 13】

パラミクソウイルス生産用細胞である、請求項 12 に記載の哺乳動物細胞。

【請求項 14】

該ゲノムRNAまたはその相補鎖が、エンベロープ構成蛋白質をコードする遺伝子の 1 つまたは複数を欠損している、請求項 12 または 13 に記載の哺乳動物細胞。

【請求項 15】

該パラミクソウイルスがセンドライウイルスである、請求項 12 から 14 のいずれかに記載の哺乳動物細胞。

【請求項 16】

該ゲノムRNAとリボヌクレオプロテインを形成するパラミクソウイルス蛋白質が、パラミクソウイルスのN（ヌクレオキャプシド）、P（ホスホ）、およびL（ラージ）蛋白質である、請求項 12 から 15 のいずれかに記載の哺乳動物細胞。